

東京大学主催シンポジウム
科学技術イノベーション政策プロセスの改革と人材育成
古川科学技術政策担当大臣挨拶

本日、東京大学の主催により「科学技術イノベーション政策プロセスの改革と人材育成」をテーマとするシンポジウムが盛会に開催されますことをお慶び申し上げます。

また、本シンポジウムの開催に当たりご尽力された方々に対し敬意を表したいと思っております。

今回のシンポジウムでは、科学技術に関する知見を社会における新たな需要創造につなげる上でのイノベーションの役割が重視されています。

私もかねてから、日本経済が直面する諸課題を克服するためには、社会のあらゆる場面で、イノベーションを実現し、成長力を高めることが必要不可欠だと考えております。このイノベーションについて、単なる新製品・新技術の開発にとどまらず、これまでの延長線上や従来の枠にとらわれない自由で新しい発想や創意工夫により、非連続な発展を実現することだと理解しております。

このように考えた場合、イノベーションでも、特に研究開発の成果を実用化することにより新たな社会的・経済的価値を生み出す科学技術に関するイノベーションが我が国の今後の発展に重要であり、科学技術とイノベーションを一体的に推進していくことが必要です。このため、国家戦略としての科学技術イノベーション政策を推進することが今後の我が国にとって非常に重要であると考えています。

また、この科学技術イノベーション政策を実施する段階では、その責任者である内閣総理大臣をはじめとする各大臣が、対象となる政策についての科学技術イノベーションに関する情報を的確に理解し、適切に政策を執行していくことが必要です。このことは、特に昨年の中日本大震災のような非常時に顕著に表れるものであると思っています。

残念ながら、これまで、日本では、政策の実施段階での科学的知見に基づく助言が機動的に行われるという制度が十分とはいえない状況であり、この点を改善していくことが必要であると考えています。

以上のような状況を踏まえ、昨年秋、私の下に「科学技術イノベーション政策推進のための有識者研究会」を設置し、有識者の方々に、科学技術とイノベーションを一体的に推進する体制と科学的助言体制の在り方について検討していただきました。

現在、この研究会でまとめられた提言を受けて、科学的助言の在り方を含む日本の新たな科学技術イノベーション政策の推進体制の具体像を検討しているところであり、必要な法案を今国会へ提出することとしています。

本シンポジウムでは、研究会報告書についての紹介もあると思いますが、皆様から忌憚のないご意見をいただき、これからの政策にも活かしてまいりたいと考えております。

本日のこのシンポジウムにおける議論が充実したものとなることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。